



千葉市消防局

CHIBA CITY FIRE BUREAU

守り、繋ぐ。

千葉県への愛着と誇り、使命感と責任感を持って業務に取り組む職員
規律や礼儀を重んじ、消防の服務倫理観を持った職員
プロフェッショナルとしての職務能力を持ち、市民から信頼される職員
自ら成長し、組織目標達成に貢献する職員



このまちが、好きだ。

家も店も工場も森も海も、ある。約98万人のひとが、このまちで暮らしている。ただそれだけだと言われれば、ただそれだけだ。都心と田舎の、まんなかのようなまちだ。毎日が穏やかに流れてゆく。広い森と海、ちょっとしたショッピングモール、オフィスビル、小さな公園、たくさん家。ちょうどよく、ちょっといい、平凡な日々。そんな毎日を、特別だと思ふようになった。ひとの優しさに触れたとき、自然の美しさを目の当たりにしたとき、雨上がりのこのまちが、きらきらと輝いたとき。当たり前毎日が、当たり前でないことに気づくのは、失うときばかりではない。失ってから気づくより、当たり前であり続けるなかで、気づきたい。気づいてほしい。なにも失わず、奪われず、このまちのひとたちが、当たり前前に幸せに生きてゆけるように。このまちで暮らすひとたちを、わたしたちは、守りたい。ひとを、まちを、くらしを、いのちを。

すべてを守る、日々を未来へと繋いでゆく仕事を、しよう。

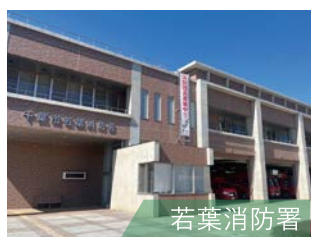
千葉市消防局



千葉市消防局 管内データ



- 消防局 (中央消防署と合同庁舎)
- 消防署 (中央消防署含め 6 消防署)
- 出張所 (19 出張所)
- 他 消防学校、消防ヘリポート、整備工場



千葉市データ
 人口・・・979,321人
 面積・・・271.76km²
 世帯数・・・467,399世帯
 ※人口・世帯数は令和6年3月1日現在のものです
 ※面積は令和5年4月1日現在のものです

千葉市消防局データ
 職員定数・・・946人
 保有消防車両・・・約200台
 消防ヘリコプター・・・2機
 消防艇・・・1艇



消防ヘリコプターは、千葉県内では千葉市消防局のみが保有しています。消防艇と共に、空・海から、安全・安心を守る存在として、日々活躍しています。

多くを守るため、 一刻も早く

消防隊は、火災が発生するといち早く現場に駆けつけ、消防車両や資機材を駆使して消火活動を行います。また、火災だけでなく、救助活動や交通事故現場での危険物排除活動、緊急確認などにも出動し、昼夜を問わず市民の安全を守っています。

消防隊

この命、 必ず繋いでみせる

千葉市消防局では、高度な救急サービスを市民に提供するため、救急救命士の養成及び資格取得等を推進しています。また、指令センターの常駐医師との連携のもと、救命率の向上に努めています。

救急隊

人命救助の プロフェッショナル

「救助隊になりたい！」
私が消防士になる動機でしたが、入局当時、人命救助のプロフェッショナルである特別救助隊は“男性”の職場でした。それでも、先輩・同僚からの後押しをもらい、千葉市消防局で初めて“女性救助隊員”として、人命救助の最前線で活動させてもらっています。厳しい訓練では泣きそうになることもあります。夢を実現させてくれた職場や先輩・同僚に感謝しつつ、救助を求めている人に安心を届けることができるよう、日々、頑張っています。
熱い気持ちを持っているあなた！人命救助のプロフェッショナルと一緒に働きましょう！



平成29年度採用

救助隊

千葉市消防局には、県内20消防本部を管轄する「ちば消防共同指令センター」があり、千葉市消防局の職員だけでなく、各消防本部から派遣されてきた職員も一丸となって119番通報の受信を行っています。通報の内容から適切な部隊の選定と出動指令を行い、時には部隊到着までの間の応急処置等を口頭で説明することもあり、素早い判断と緊迫した状況下にある通報者の方への適切な対応を求められる業務です。指令センターを共同で運用することにより、消防本部間の連携や広域にわたる災害等の情報共有が可能となりました。市境など、過去には出動部隊の選定が難しかった地域においても、迅速かつ的確な対応が図られるようになりました。

平成21年度採用

助けを求める声と、 消防を繋ぐ声

学生の頃、電車内で倒れた女性を救護した経験から救急隊員に憧れ、消防士を志しました。
119番通報を受け付ける指令センターは助けを必要としている方々の声を最初に聞くところ。不安な気持ちを少しでも和らげられるよう、通報者に寄り添った聴取を心がけ、口頭指導によって命を繋ぐ指令センターも人命救助の最前線であるという気持ちで日々業務にあたっています。迅速な判断が求められ、常に緊張感漂う大変な業務ですが、とてもやりがいがありますよ。皆さんと一緒に勤務する日を楽しみにしています。



指令課

特有の危険に、 万全な備えを

化学工場やコンビナートなど危険物施設の災害に対応するため、千葉市消防局では、化学車、高発泡車をはじめ、核物質や生物剤にも対応できる「特殊災害対応車（HAZ-MAT）」を配備しています。車両と訓練の両面から、特殊災害対策の強化を図っています。

特殊災害

「なぜ」を調べて 次を防ぐ

消火活動を行う一方で、火災がどのように発生し、拡大したか、そしてその損害の程度など、起きてしまった火災について調査を実施します。類似火災の防止を目的とし、現場の発掘作業や鑑識活動を行い、今後の消防活動や火災予防に役立てています。

火災原因調査

東京湾に面する千葉市では、県内一の大きさを誇る100トン級の消防艇「まつかぜ」を配備しています。消防艇には放水砲や救難艇などが備えられており、それらを駆使して、海上での船舶火災や臨海地区での大規模な危険物火災、水難救助や油流出の処理など、多種多様な災害に出動しています。特徴的な伸縮式放水塔は、最大伸長時には海上約20mに達し、毎分7,000ℓの放水が可能です。搭載された5門の放水砲の合計放水量は、毎分47,000ℓにもなります。船舶操縦免許など、必要な資格は採用後に取得する職員が多く、千葉市を海から守る要として、「まつかぜ」と共に活躍しています。

平成31年度採用

海から守る要、 熱い志と共に

私は、「人の役に立つ仕事がしたい」と思い、千葉市消防局に入局しました。現在は航海士の資格を取得し、水上消防隊として勤務しています。消防艇まつかぜは、主に船舶火災や水難救助等の災害発生時に出動します。消防士なのに船？と思われるかもしれませんが、千葉市では水難事故が続くなど、海上での活動の必要性が高まっており、そのような災害に備えるために日々訓練に励んでいます。「人の役に立ちたい！人を助けたい！」という熱い気持ちを持った皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

水上消防隊

消防局の羅針盤

私は大学卒業後、一度は民間企業に就職しましたが、「地元である千葉市で働きたい」という思いが捨てきれず消防局の採用試験にチャレンジしました。企画広報係では主に消防行政全般に関わる計画の進捗管理や消防行政を市民の方々に周知する広報業務を行っています。消防局全体に関わる重要な業務に従事する「やりがい」と「責任」を感じながら充実した毎日を送っています。消防局のいいところは、多種多様な仕事があり、一つ一つにやりがいと面白味があるところだと思います。消防の仕事に興味を持ってくれた皆さんと一緒に、楽しく仕事ができる日を待っています。

平成29年度採用

消防局は、総務部・警防部・予防部に分かれており、総務部は、総務課・人事課・施設課・消防学校に分かれて業務を行っています。総務課はさらに、総務係・企画広報係・経理係・消防団係に分かれています。企画広報係は、千葉市消防局全体の目指す方向を保ち、舵を取る役割を果たすほか、市民見学会の企画や運営、音楽隊コンサートの関連業務、SNSでの情報発信なども行っています。イベントでは写真や動画の撮影を担当し、広報活動に活かしています。現場とはまた異なる業務が多いですが、消防行政を支えるという点において、重要な職務です。

企画・広報（総務課）

火災を未然に防ぐために、多数の人が出入りする建物などに立ち入り、防火対策の指導や必要な検査を行います。また、建物の設備が消防法令等に適合しているか、市民が安全に利用できるよう、細かな確認を行います。過去の火災の発生原因や火災による延焼状況、被害状況などの調査結果を踏まえ、類似火災の対策に役立つための必要な指導を行うことや、市民への防火指導に活かすことも業務のひとつです。これらの業務を行うにあたっては、化学的知識や建築構造の理解などが求められ、建築・電気・化学などに関する専門的知識を活かすことのできる業務でもあります。これらの知識は、採用後に身につけることもできます。

平成29年度採用

学んできた知識が 火災を未然に防ぐ

火災を未然に防ぐため、雑居ビルや飲食店等へ立入検査等を実施し、火災危険性や消防法令への適合状況をチェックする「査察業務」が私の主な仕事です。千葉市消防局には「消防士（建築）採用」で入局しており、学生時代に学んだ建築関係の知識を業務に活かして、市民の方が安心して市内の建物を利用できるように、関係者に対して消防法令違反の内容や火災危険性を説明し、早期に違反を是正させるよう努めています。「査察業務」は火災による被害を未然に防ぎ、市民の生命・身体・財産を守るための、消防に課せられた大切な業務です。「査察業務」にもぜひ興味をもっていただき、消防の門を叩いていただければ嬉しいです。

査察業務

空から守る要、 ただ人のために

私は、「人の役に立つ仕事がしたい」と思い大学卒業後、千葉市消防局に入局しました。現在所属する航空隊は、ヘリコプターの機動力を活かし、上空からの消火活動や情報収集、地上から救出困難な救助活動、長距離の救急搬送などを任務とし、市内の災害だけでなく国内で発生した大規模災害にも派遣されています。航空隊は空から市民の安心・安全を守る部隊として各種災害に出動し、常に安全に任務が完結できるようチーム一丸となって活動しています。「人を助けたい！誰かの役に立ちたい！」と思っている方は、是非、千葉市消防局と一緒に働きましょう！

平成23年度採用

千葉市消防局が保有する2機のヘリコプター「おおとり1」「おおとり2」は、消防総合センター内のヘリポートから各地に出動し、優れた機動力を活かして地上部隊と連携した消火活動、情報収集、遠隔地への迅速な救急搬送などを行っています。海上や山林での救助・消火活動には特に力を発揮するほか、救急隊が処置を行いながら緊急離着陸場所に移動する間に、提携する病院の屋上ヘリポートにて医師を搭乗させ、同離着陸場に向かい、救急隊と合流する「ドクターピックアップ」を行うこともあります。救命率の向上を目的とした、ヘリ活動です。

航空隊

建てる前から、 ゼロからの防災

万が一火災が発生しても被害を最小限に抑えるため、建築物の設計段階から消防設備や構造について、法令に照らして審査・指導しています。ガソリンスタンドやコンビナート等の危険物を大量に扱う施設の安全性の確保のための業務も、指導業務にあたります。

指導業務

音に乗せて伝える 防災の心がけ

千葉市消防局の音楽隊員は、全員正規職員として、普段はさまざまな部署で働いています。勤務の傍ら練習に励み、定期演奏会やイベントでの演奏を通じて、市民の方々に消防のことや防災のこころがけなどを知ってもらう、消防と市民の方々の架け橋です。

音楽隊

消防学校での生活

千葉市には、千葉市独自の消防学校があり、新規採用職員は6か月の学校生活で消防士として必要な知識、技術、体力、精神力などを身につけるべく励みます。10月からは各署所に配属され、実際の現場でさらに研鑽を重ねてゆきます。

消防学校での一日

06:30 起床

06:40 点呼・早朝訓練

07:30 朝食・清掃

08:30 通常点検

教官による服装や姿勢の確認により消防士としての規律確保を行います

09:00 授業・訓練

放水・救助などの災害現場活動や、消防関係法令などの座学を行います



12:00 昼食

13:00 授業・訓練

17:00 自由時間
(夕食・入浴・自習)

21:30 点呼

22:30 就寝

土日、祝日は
帰宅します！



学校教官 平成16年度採用

消防学校というと、きつい・辛いというネガティブなイメージをもっている方も多いと思います。

しかし、「プロフェッショナルになるために6か月の準備期間が用意されている」とポジティブに捉えてください。教官である私自身も約20年前、千葉市消防学校で基礎を学び、一生の宝となる心強い同期が出来ました。また消防本部はたくさんありますが、政令指定都市である千葉市は独自の消防学校があり、千葉市消防局に特化した教育を受けることが出来ます。



採用後の初任教育だけでなく、消防車両の取扱いや救命対応などさまざまな課程があり、消防学校の設備を利用して訓練を行います。



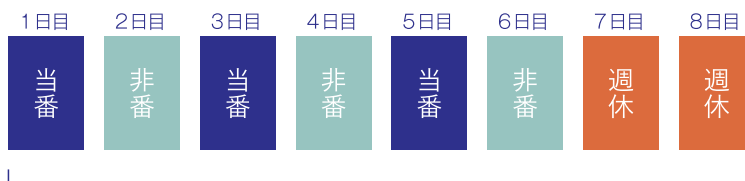
令和3年12月には、国際消防救助隊の連携訓練を行いました。広大な敷地と豊富な訓練設備を活用し、国外での救助活動を想定した大規模訓練でした。



勤務形態とスケジュール

交替制勤務のカレンダー

1 当番	2 非番	3 当番	4 非番	5 当番	6 非番	7 週休
8 週休	9 当番	10 非番	11 当番	12 非番	13 当番	14 非番
15 週休	16 週休	17 当番	18 非番	19 指定	20 指定	21 当番
22 非番	23 週休	24 週休	25 当番	26 非番	27 当番	28 非番
29 当番	30 非番	31 週休				



通常の交替制勤務の1サイクル（8日間）

交替制勤務職員の1当務

交替制勤務を行う職員の1当務（当番～非番）の流れを追ってみました。

ある当番の一日

08:30 大交替

前日の当番員からの引き継ぎや、人員の確認、車両の点検などを行います。

09:30 ミーティング

10:00 事務処理、立入検査、訓練など

いつでも出勤できるように備えつつ、庶務・予防・警防などの担当事務を行います。出勤時の報告書作成や訓練の計画と実施など、さまざまな仕事を行っています。

23:00 仮眠

夜間も出勤に備え、交代で仮眠をとります。

08:45 勤務終了

翌日の当番員へ引き継ぎを行い、勤務終了です。

09:30 帰宅

帰宅後は、緊急時の召集を除き、基本的に自由に過ごすことができます。趣味を楽しんだり、トレーニングに励んだり、次の勤務に備えつつ、リフレッシュする時間です。

クラブ活動など



非番や休日などに集まる、クラブ活動も充実しています。野球、サッカー、バドミントン、柔道、剣道など運動系クラブのほか、手話などの文化系クラブもあり、楽しく活動しています。活動の写真をいただきました！

交替制勤務

職員の多くは、消防署で災害対応を主に行う交替制勤務をしています。

当番日は24時間勤務、1サイクルは8日、上記の他に指定休日があり、週休2日制と同等の勤務日数・週休日数となっています。

毎日勤務

組織運営や企画立案、予防業務などに従事する職員は、主に毎日勤務を行っています。基本的に月曜日から金曜日までが勤務、土曜日と日曜日が週休日となる勤務形態です。業務上、土曜日・日曜日に出勤となることもあります。

毎日勤務の勤務時間

6種の勤務パターンから、いずれかを選択して勤務します。1日あたり7時間45分勤務です。

3班	07:30～16:15
2班	08:00～16:45
1班	08:15～17:00
A班	08:30～17:15
B班	09:00～17:45
C班	09:30～18:15

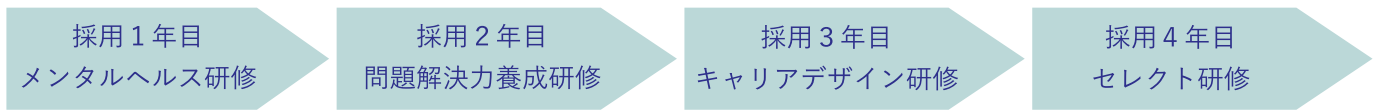
資格などの取得支援環境

緊急車両を運転するための大型自動車運転免許や救急救命士免許などは、採用後に働きながら取得できるよう、支援制度や環境が整っています。多くの職員が、スキルアップのために様々な資格を取得し、日頃の業務に活かしています。

ある非番の一日

サポート体制 ～人材育成～

千葉市消防局では、一人ひとりの適性を見極めつつ、柔軟な思考、広い知識と視野を持ち、課題解決を行うことができる職員を育成するため、人材育成に力を入れており、さまざまな研修を行っています。また、新任職員に対し、専任の指導育成担当職員（アドバイザー）を任命し、新規採用職員・アドバイザーの両者の成長を図っています。



消防局独自の研修（一例）



危険物輸送車両研修の座学の様子。
消防法令上の扱い、車両の構造などについて、講師からしっかりと学びます。

座学後は屋外に移動し、実際の車両を用いて、車両展示および事業者による説明、質疑応答などを行います。

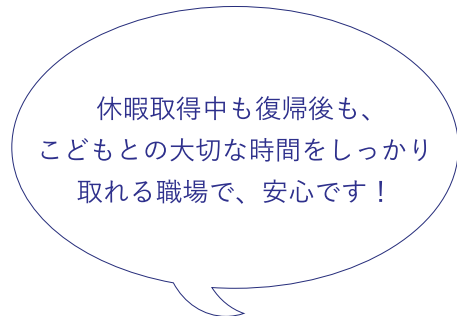


この他にも、他本部との合同研修や、サービス倫理研修など、様々な研修を通して幅広い知識・教養を身につけ、自身のスキルアップによって困難な状況にも対応できるような職員となる環境が整っています。

サポート体制 ～子育て支援～

千葉市では、部下全員のワークライフマネジメント、特に子育てを支援しつつ、職場全体の業務効率化に努め、自らも仕事と生活を充実させているリーダーとして、全所属長を「イクボス」と位置付けています。子育てをする職員と面接を行いながら休暇の取得計画を立て、子育てをする職員と、同じ職場で働く他職員の両者に目を配り、業務分担などを調整します。育児（保育、旅行、行事参加などを広く含む）のための年次有給休暇も積極的に取得するよう促し、男性職員も子育てに関わる時間を多く持てるようサポートしています。

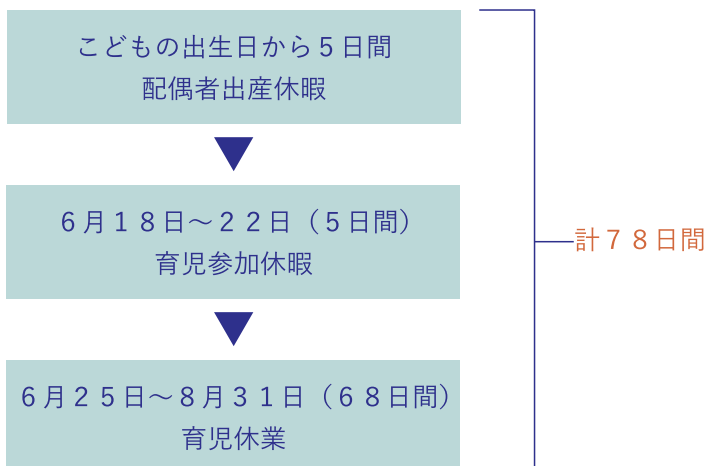
配偶者出産休暇・育児参加休暇・育児休業など子育て関係の休暇を取得する職員は年々増加しており、目標とする取得率100%に向けて、千葉市消防局全体で子育てをしやすい職場環境づくりに取り組んでいます。



子育
て



休暇の取得例



交替制勤務 平成26年度採用

令和5年6月に第1子が生まれました。毎日子どもの成長がとても嬉しいです！千葉市には「イクボス」がいます。イクボスが家庭のこと、休暇の調整や普段の業務までしっかりと見てくれます！イクボスや所属の皆さんの温かいサポートがあり、育児参加休暇や育児休業制度を利用し、2か月半に渡り休みを取得することができました。出産を頑張ってくれた妻のサポートと28日間しかない貴重な新生児期を家族で過ごすことができたことはとても幸せでした。私生活と仕事のメリハリがしっかり付けられるのは、子育てに関する心強い制度が整っている千葉市消防局のポイントです！

アドバイザー制度



新任職員
令和5年度採用

アドバイザー
平成26年度採用



新任職員

消防学校卒業後から在職期間が3年になるまでの職員
アドバイザー職員
勤続5年以上の消防士、もしくは消防士長、消防司令補

新任職員はどんなことも質問しやすく、アドバイザーは指導育成の経験を積むことができる制度です！
風通しの良い職場づくりの土台となっています。

1年目
職務の理解

2年目
職務の実践

3年目
職務の後輩指導

まずは
目標を設定！採用直後
から公私問わず、どんなこ
とも相談できて助か
ります！

後輩を
指導するなかで、自分
も成長。指導育成のなかで
得るものがたくさんあ
ります！

定期的
な面談などがあり、丁
寧なサポートのもと、着実
にステップアップでき
ます！

今後は教える
立場になります！

組織概要と勤務形態

交替制勤務と毎日勤務の組織内での分布は以下のようになっています。

なお、6消防署の予防課には毎日勤務の職員もいます。

女性活躍情報発信中！



体験談

毎日勤務 平成23年度採用

私は、消防隊員・救急隊員で勤務してから3人の子供を授かり育児休業を取得しました。

毎日勤務で復職した現在は朝ドタバタと子供を送り、消防署でカッコイイ制服に袖を通したら消防士に大変身！

育児短時間勤務制度を利用し、大好きな子供をすぐにお迎えに行く充実した毎日を過ごしています。

千葉市は仕事と育児の両立を応援してくれる制度や環境が整っているので、生活が変化しても安心して働けます。一緒に女性消防士になる夢、叶えましょう！



総務部	総務課	総務係・企画広報係・経理係・消防団係
	人事課	人事係・給与厚生係
	施設課	施設係・装備係・整備係
	消防学校	
警防部	警防課	警防係・計画係・消防救助係
	救急課	救急管理係・高度化推進係
	指令課	
	航空課	
予防部	予防課	予防係・調査係・査察対策室
	指導課	危険物係・保安係・建築第一/二係
消防署	消防第一/二課	警防係・救急係・救助係
	予防課	庶務係・予防係・調査係

職員が利用できる出産・育児関係の制度

産前・産後休暇（各8週）

育児休業（3年間まで）

育児短時間勤務

子の看護休暇（年5日まで）
※子供1人あたり

深夜勤務の制限

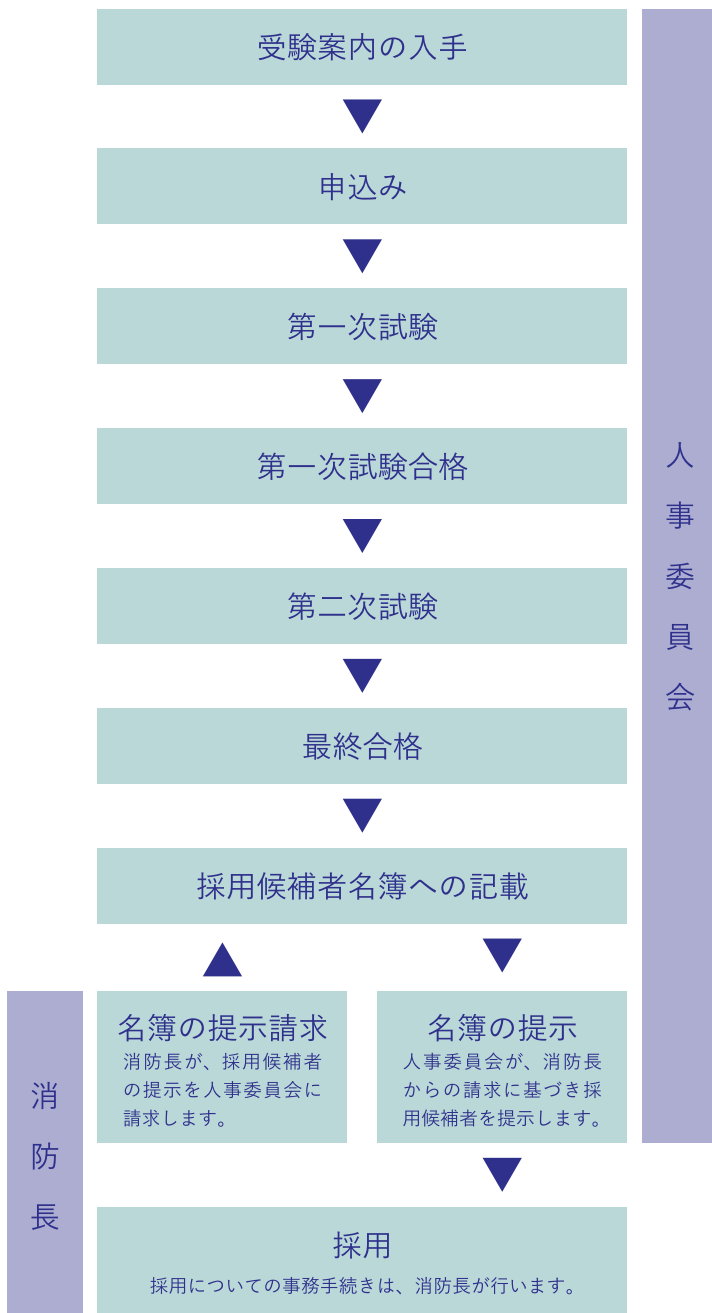
時間外勤務の制限

採用試験関係

試験のおおまかなスケジュール

区分	主な受験資格	受験案内 配布開始目安	受付期間 目安	一次試験 目安	二次試験 目安
上級 行政・建築・電気 化学・救急救命士	22歳～28歳	5月上旬	5月上旬 ～5月下旬	筆記試験：6月中旬 体力検査：6月下旬 ～7月上旬 [合格発表] 7月上旬～中旬	面接試験：7月上旬 ～8月上旬 [最終合格発表] 8月中旬～下旬
初級 行政・救急救命士	18歳～21歳	7月中旬	7月下旬 ～8月上旬	筆記試験：9月下旬 体力検査：10月中旬 [合格発表] 10月中旬～下旬	面接試験：10月中旬 ～11月中旬 [最終合格発表] 11月中旬～下旬

申込みから採用までの流れ



申込み方法

※申込み際は、必ず「受験案内」の内容を十分確認してください。
申込みは、「ちば電子申請サービス」を利用します。

千葉市職員募集ホームページ

city.chiba.jp/jinji/bosyu

申込みには、以下の3点が必要です。

- インターネットに接続できるパソコン、もしくはスマートフォン
- 返信用メールアドレス
- 印刷環境（受験票を出力するため）

千葉市職員募集ページ



受験案内の入手方法

①ホームページからダウンロードする

千葉市職員募集ホームページからダウンロードできます。

②直接受け取る

受験案内配布開始日から受付期間終了日までの間に、下記の場所で受け取ることができます。

[受付時間] 月～金 /8:30～17:30

- 千葉市人事委員会事務局
- 消防局人事課
- 各区役所地域振興課
- 千葉市東京事務所
- 各市民センター・連絡所

[受付時間] 7:00～22:00

- 各消防署・出張所

千葉市消防局

〒260-0854
千葉県千葉市中央区長洲 1-2-1
千葉市消防局総務部人事課

TEL : 043-202-1643
FAX : 043-202-1645

千葉市消防局 HP

